

令和8年度 校長挨拶

Think and Act(本校の学びの目標)

佐世保南高校は、今年度創立77年目を迎える県下有数の伝統校です。

校訓である「自彊自律」「和敬禮節」は、「進んで自らを鍛え律し、他者には優しく礼儀正しく」という意味であり、本校の前身である旧制佐世保中学校と高等女学校の校訓・教えが明治時代からそのまま引き継がれています。卒業生は3万3千人を超え、地元佐世保はもちろんのこと、日本のみならず世界で活躍しており、まさに長崎県を代表する学校です。

校内には緑も多く、四季折々に素晴らしい景色を醸してくれます。そんな環境の中で生徒たちは学習や行事・部活動など様々な活動に日々取り組んでいます。運動部では男子バレーボール部が県内トップクラスの実力を持ち、文化部でも邦楽部が全国大会に出場するなど、20を超える部活動で、生徒たちが生き生きと活動する姿が見られます。

令和5年度には「文理探究科」を開設し、その中に「国際探究コース」と「理数探究コース」を設けて、海外研修や筑波・東京研修・郷土遺産研修という多様で魅力ある学習プログラムを提供しています。また、「文理探究科」・「普通科」ともに「サザンタイム」(総合的な探究の時間)では課題探究学習に力を入れており、生徒は**自らの興味・関心**に基づいて探究テーマを設定し、**課題を見つけて解決策を考え(Think)**、フィールドワーク**(Act)**などを通して研究し、発表するという探究プロセスを学びます。さらに、探究プロセスを通して身に付く「自らの学びを振り返る力」により、大学受験の合格に必要な学力の向上も図ることができます。

さらに、授業や探究学習に加えてキャリア講演会や進路講演会等の多様な教育プログラムの展開により、生徒の**知的好奇心や探究心を刺激し**、生徒が**自らのキャリアを主体的に考え、人生を主体的に切り開くために必要な知識、スキル、マインドを身に付ける**ことができます。

高校は、最終的には自らの進路を実現できる力を養う場です。私たち教職員も、新しい学びを提供するための研修や授業改善に力を入れており、教科指導力やファシリテーション力の向上を図っています。

こうした取り組みの成果として、この3月に卒業生した、新体制における最初の卒業生は、大学入試において、探究学習の取組を基盤にして、総合型選抜や学校推薦型選抜(いわゆる「年内入試」)で志望校への合格を勝ち取る生徒が多数見られました。

校訓である「自彊自律」「和敬禮節」の精神を受け継ぎ、社会に貢献し、将来、**地域や日本・世界のリーダーとして活躍できる人間**を育てるために、教職員はもちろんのこと、柏葉会(同窓会)、育友会そして地域の皆様と協力して教育活動に取り組んでまいります。

令和8年4月

長崎県立佐世保南高等学校
第29代校長 舟越 裕